

MGX 8220 アップグレード および ダウングレード テクニク

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[プロシージャ 1: 2.y へのバージョン 2.x の 1 つの ASCカード セットのためのぶざまなアップグレード; 2.x への 3.y; 3.x から 3.y へ](#)

[プロシージャ 2: 2.x へのバージョン 2.y の 1 つの ASCカード セットのためのダウングレード; 3.y への 2.x; 3.y から 3.x へ](#)

[プロシージャ 3: 2.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのためのぶざまなアップグレード; 2.x への 3.y; 3.x から 3.y へ](#)

[プロシージャ 4: 2.x へのバージョン 2.y の 2 ASCカード セットのためのダウングレード; 3.y への 2.x; 3.y から 3.x へ](#)

[プロシージャ 5: 4.y へのバージョン 2.x の 1 つの ASCカード セットのためのぶざまなアップグレード; 3.x から 4.y へ](#)

[プロシージャ 6: 2.x へのバージョン 4.y の 1 つの ASCカード セットのためのダウングレード; 4.y から 3.x へ](#)

[プロシージャ 7: 2.x へのバージョン 4.y の 2 ASCカード セットのためのダウングレード; 4.y から 3.x へ](#)

[プロシージャ 8: 4.y へのバージョン 4.x の 1 つの ASCカード セットのためのぶざまなアップグレード; 4.x への 5.y; 5.x から 5.y へ](#)

[プロシージャ 9: 4.x へのバージョン 4.y の 1 つの ASCカード セットのためのダウングレード; 5.x への 4.x; 5.y から 5.x へ](#)

[プロシージャ 10: 2.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのための段階的アップグレード; 3.x から 3.y へ](#)

[プロシージャ 11: 4.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのための段階的アップグレード; 3.x から 4.y へ](#)

[プロシージャ 12: 4.y へのバージョン 4.x の 2 ASCカード セットのための段階的アップグレード; 4.x への 5.x; 5.x から 5.y へ](#)

[プロシージャ 13: 4.x へのバージョン 4.y の 2 ASCカード セットのためのダウングレード; 5.x への 4.x; 5.y から 5.x へ](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、Cisco MGX 8220 エッジ コンセントレータのブートコードとファームウェアのアップグレードおよびダウングレードを成功させるためのシスコの推奨プロセスについて

説明します。 AXIS は、Cisco MGX 8220 エッジ コンセントレータの従来の製品名です。

AXIS Shelf Controller (ASC) のためのこれらのアップグレード および ダウングレードテクニック ([MGX 8220 アップグレード](#) [におよびダウングレード行列](#)、[概念および定義](#) 説明がある) および Service Module (SM) は提供されます:

- [段階的アップグレード](#)
- [ぶざまなアップグレード](#)
- [ダウングレード](#)

追加情報に関しては[概念および定義](#)を参照して下さい。

ファームウェア リリース ノートの詳細情報を見る [登録ユーザ](#) である必要があります。

正常なファームウェアアップグレードを行なうのに援助としてこの資料を使用して下さい。 この資料は Cisco 販売エンジニア、システムエンジニア、またはアカウントマネージャとの適切な計画のための代替ではないです。

注: ファームウェア バージョン 2.1.16 または 2.1.18 [アップグレードすること](#) をから 4.0.03 に MGX 8220 アップグレードのための [4.0.03 へ MGX 8220 ファームウェア 2.1.18/16](#) を参照して下さい。

警告: この資料の手順の使用は MGX 8220 エッジ コンセントレータの実際上の知識を仮定します。 ファームウェア アップグレードを続行する前に両方の文書を完全に読んで下さい。

[前提条件](#)

[要件](#)

次の項目に関する知識が推奨されます。

- MGX 8220 エッジ コンセントレータ

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

ファームウェア バージョン 5.0.x への MGX 8220 アップグレードはバージョンのためにだけサポートされます:

- 4.0.x
- 4.1.x
- 5.0.x

バージョン 2.x または 3.x からのアップグレードのための 4.0.x または 4.1.x の最新の一般に利用可能な ファームウェア バージョンへの最初アップグレード デバイス。 それからバージョン 5.0.x へのアップグレード。 特別な配慮はアップグレードすると適用します:

1. バージョン 2.x および 3.x から
2. バージョン 4.0.x および 4.1.x からのバージョン 5.0.x への Inverse Multiplexing for ATM (IMATM) トランクモジュールおよび ATM User-Network Interface (UNI) SM (AUSM)

8 ポート SM

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

手順

プロシージャ 1: 2.y へのバージョン 2.x の 1 つの ASC カード セットのためのさまざまなアップグレード; 2.x への 3.y; 3.x から 3.y へ

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 2.x への 2.y
- 2.x への 3.y
- 3.x から 3.y へ

1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンダアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにこのコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの前に、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が保たれたことを確立するために同じ設定パラメータを後アップグレード検査しました。
5. トリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP) を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC ファームウェアをダウンロードします。
7. ASC ディスクに正常なダウンロードを確認するためにファームウェアのファイル サイズを比較して下さい。
8. 正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
9. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュ・メモリ ファイル および 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc40000
```

TFTP を行い、SM スロットの数によって *slot#* を取り替えるために置かれた **<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT** コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。

10. ファームウェア ファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュ・メモリ ファイルおよび 0xbf000000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbf000000
```

TFTP を行い、SM スロットの数によって *slot#* を取り替えるために置かれた **<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW** コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。

11. シェルフのすべてのカードをリセットする [resetsys コマンド](#) を発行して下さい。
12. 接続の数に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#) を発行して下さい。
13. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。このステップはアップグレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査します。ダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。コマンドはまた設定が変わらないかどうか確かめるのを助けることができます。
14. ASC および SM 設定を必要ならば復元して下さい。

[プロシージャ 2: 2.x にバージョン 2.y の 1 つの ASC カード セットのためにダウングレード; 3.y への 2.x; 3.y から 3.x へ](#)

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 2.y への 2.x
- 3.y への 2.x
- 3.y から 3.x へ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。
2. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための [現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前にこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#) を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数に変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。ダウングレードの前に、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定がきちんと復元されたかどうか確かめるために同じ設定パラメータを後ダウングレード検査しました。
6. TFTP を行うために置かれた **<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW** コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に望ましいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示

する [version コマンド](#) を発行して下さい。

7. TFTP を ASC に望ましい ASC ファームウェアをダウンロードするために行うように置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。
8. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックして下さい。
9. 正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#) を発行して下さい。
10. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュ・メモリ ファイル および 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#) を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc40000
```

TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための望ましいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。

11. ファームウェア ファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でファームウェア ファイル および 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#) を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfd00000
```

TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。

12. シェルフのすべてのカードをリセットする [clrallcnf コマンド](#) を発行して下さい。
13. バッテリー バックアップ RAM (BRAM) 修正を設定して下さい。
14. ASC および SM 設定を復元して下さい。
15. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#) を発行して下さい。
16. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。このステップはダウングレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査します。設定が変わらなかったかどうか確かめるためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

[プロシージャ 3: 2.y へのバージョン 2.x の 2 ASC カード セットのためのぶざまなアップグレード; 2.x への 3.y; 3.x から 3.y へ](#)

注: バージョン 2.x を実行する MGX 8220 シェルフは 3.x に段階的にアップグレードすることができません。アップグレード プロセスはシェルフに 2 ASC カード セットとの冗長性があっても見苦しいです。無様にこれらのリリースをアップグレードするためにこれらのステップを完了して下さい:

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 2.x への 2.y

- 2.x への 3.x
- 3.x から 3.y へ

1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンダアロン SM のための [現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数に変更されなかったようにするためにプロセスの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの前に、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が保たれたかどうか確かめるために同じ設定パラメータを後アップグレード検査しました。
5. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える `switchcc` コマンドを発行して下さい。TFTP を第 2 ASC に新しいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブ ASC のための新しいファームウェアをダウンロードします。
7. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。
8. 正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
9. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_STANDBY.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはスタンバイ ASC のための新しいファームウェアをダウンロードします。
10. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。
11. 正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
12. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュ・メモリ ファイル および 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000
```

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc40000
```

TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。

13. ファームウェア ファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュ・メモリ ファイルおよび 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000
```

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfd00000
```

TFTP を行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash](#) コマンドを発行して下さい。

14. シェルフのすべてのカードをリセットする [resetsys](#) コマンドを発行して下さい。
15. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat](#) コマンドを発行して下さい。
16. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals](#) コマンドを発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったことを確立するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
17. ASC および SM 設定を必要ならば復元して下さい。

プロシージャ 4: 2.x にバージョン 2.y の 2 ASCカード セットのためにダウングレード; 3.y への 2.x; 3.y から 3.xへ

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 2.y への 2.x
- 3.y への 2.x
- 3.y から 3.xへ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。
2. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat](#) コマンドを発行し、ConnNumOfValidEntries パラメータの値に注意して下さい。これは接続の数を示します。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals](#) コマンドを発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。ダウングレードの前に、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか確かめるために同じ 設定パラメータを後ダウングレード検査しました。
6. TFTP を行うために置かれた <ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash](#) コマンドを発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version](#) コマンドを発行して下さい。他の ASC に切り替える switchcc コマンドを発行して下さい。TFTP を行うために置かれた <ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash](#) コマンドを発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version](#) コマンドを発行して下さい。
7. TFTP を行うために置かれた <ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW コマンドを発行して

下さい。このステップはアクティブASCのための望ましいファームウェアをダウンロードします。

8. ダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックし、ファームウェアがASCディスクに正常にダウンロードされたかどうか確認して下さい。
9. 正しいファームウェア修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. TFTPを行うために置かれた <ASC_FW_file> AXIS_ASC_STANDBY.FW コマンドを発行して下さい。このステップはスタンバイASCのための望ましいファームウェアをダウンロードします。
11. ファームウェアがASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。
12. 正しいファームウェア修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
13. ブートコードファイルがすべてのSMのために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレスおよび終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュ・メモリファイルおよび 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000
```

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc40000
```

TFTPを行うために置かれた <SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップはSMのための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。

14. ファームウェアファイルがすべてのSMのために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレスおよび終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュ・メモリファイルおよび 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000
```

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfd00000
```

TFTPを行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW コマンドを発行して下さい。SM スロット番号によって slot# を取り替えて下さい。このステップはSMに望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。

15. [clralcnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
16. BRAM 修正を設定して下さい。
17. ASC および SM 設定を復元して下さい。
18. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
19. すべてのSMのための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか確かめるためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

[プロシージャ 5: 4.y へのバージョン 2.x の 1 つの ASC カード セットのためのぶざまなアップグレード; 3.x から4.y へ](#)

このプロシージャはファームウェアバージョンに適用されます:

- 2.x への 4.y
- 3.x から4.y へ

1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数に変更されなかったようにするためにプロセスの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの前に、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか確かめるために同じ設定パラメータを後アップグレード検査しました。
5. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための新しいファームウェアをダウンロードします。
7. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。
8. 正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
9. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュ・メモリ ファイル および 0xbfc80000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc80000
```
- TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
10. すべての SM のためのファームウェアをダウンロードして下さい。TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。ダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックし、ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうか確認して下さい。ファームウェア 修正を表示する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
11. [resetsys コマンド](#)を発行して下さい。
12. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
14. ASC および SM 設定を必要ならば復元して下さい。

[プロシージャ 6: 2.x にバージョン 4.y の 1 つの ASC カード セットのためにダウン](#)

[グレード: 4.y から 3.xへ](#)

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 4.y への 2.x
- 4.y から 3.xへ

1. [互換性をチェックして下さい。](#)
2. [現在の ASC構成を保存して下さい。](#) ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい。](#) ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す `ConnNumOfValidEntries` パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に望ましい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW` コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。
8. ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。
9. 正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための望ましいブートコードをダウンロードします。
11. フラッシュ チェックサムをブートコードが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。
12. フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
13. ファームウェア ファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュ・メモリ ファイルおよび 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr コマンド](#)を発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = xbfd00000
```

TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。

14. [clralcnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
15. ASC および SM 設定を復元して下さい。
16. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
17. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

プロシージャ 7: 2.x にバージョン 4.y の 2 ASCカード セットのためにダウングレード; 4.y から 3.xへ

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 4.y への 2.x
- 4.y から 3.xへ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。
2. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンダアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた <ASC_BT_file> *AXIS_ASC_BACKUP.FW* コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に望ましい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. TFTP を行うために置かれた <ASC_FW_file> *AXIS_ASC_ACTIVE.FW* コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。
8. ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。
9. 正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM_BT_file> *AXIS_SM_1_slot#.BOOT* コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM のための望ましいブートコードをダウンロードします。
11. フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。
12. フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
13. ファームウェア ファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始

アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュ・メモリ ファイルおよび 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = xbfd00000
```

TFTP を行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash](#) コマンドを発行して下さい。

14. [clralcnf](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
15. ASC および SM 設定を復元して下さい。
16. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat](#) コマンドを発行して下さい。
17. すべての SM のための [dsptotals](#) コマンドを発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

プロシージャ 8: 4.y へのバージョン 4.x の 1 つの ASC カード セットのためのさまざまなアップグレード; 4.x への 5.y; 5.x から 5.y へ

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 4.x への 4.y
- 4.x への 5.x
- 5.x から 5.y へ

1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat](#) コマンドを発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals](#) コマンドを発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
5. TFTP を行うために置かれた <ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash](#) コマンドを発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version](#) コマンドを発行して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた <ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブ ASC のための新しいファームウェアをダウンロードします。
7. ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。
8. 正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs](#) コマンドを発行して下さい。

9. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。
10. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_0.FW コマンドを発行して下さい。第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための新しいファームウェアをダウンロードします。[スロット別ファームウェアダウンロード](#)のために TFTP を使用して下さい。TFTP を行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。ファームウェア 修正を表示する [dspfwrevs コマンド](#) を発行して下さい。
11. [resetsys コマンド](#) を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
12. 接続の数がプロシージャの間に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#) を発行して下さい。
13. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
14. ASC および SM 設定を必要ならば復元して下さい。

[プロシージャ 9: 4.x にバージョン 4.y の 1 つの ASC カード セットのためにダウングレード; 5.x への 4.x; 5.y から 5.x へ](#)

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 4.y への 4.x
- 5.x への 4.x
- 5.y から 5.x へ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。
2. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。
3. 各々のプライマリおよびスタンダアロン SM のための [現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#) を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンダアロン SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた <ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に望ましい ASC bootcode をダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。

7. TFTP を行うために置かれた <ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。ダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックし、ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうか確認して下さい。正しいの確認する [dspfwrevs コマンド](#)をファームウェア 修正発行して下さい。
8. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM のための望ましいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
9. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_0.FW コマンドを発行して下さい第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための望ましいファームウェアをダウンロードします。 [スロット別ファームウェア](#) ダウンロードのために TFTP を使用して下さい。 TFTP を行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。ファームウェア 修正を表示する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. [clralcnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
11. ASC および SM 設定を復元して下さい。
12. 接続の数が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

プロシージャ 10: 2.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのための段階的アップグレード; 3.x から3.y へ

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 2.x への 2.y
 - 3.x から3.y へ
1. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
 2. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
 3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにこのコマンドを再度発行して下さい。
 4. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
 5. TFTP を行うために置かれた <ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チ

チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える [switchcc コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を第 2 ASC に新しいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた [<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW](#) コマンドを発行して下さい。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。 [donotupdatestandby コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を行うために置かれた [<ASC_FW_file> AXIS_ASC_STANDBY.FW](#) コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば。正しいファームウェア修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。

- ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュ・メモリ ファイル および 0xbfc40000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = xbfd00000
```

すべての SM のための TFTP を行うために置かれた [<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT](#) コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。

- ファームウェア ファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc40000 でフラッシュ・メモリ ファイル および 0xbfd00000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc40000  
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfd00000
```

TFTP を行うために置かれた [<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW](#) コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM に望ましいファームウェアをダウンロードします。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。ファームウェア修正を表示する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。

- [resetcd <standby_ASC>](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンバイカードをリセットします。
- スタンバイASC が再度アップした後 [resetcd <active_ASC>](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはアクティブ カードをリセットし、スタンバイASC は最小サービス効果とアクティブになります。
- すべてのスタンドアロン SM のための [resetcd <stand-alone>](#) コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンドアロン カードをリセットします。
- すべての冗長性グループ (3.y へのバージョン 3.x) のすべてのプライマリ SM に関しては [:resetcd <primary_SM>](#) コマンドを発行して下さい。 [resetcd <secondary_SM>](#) コマンドを発行して下さい。
- 接続の番号が正しいことを確認する [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
- すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

14. ASC および SM 設定を必要ならば復元して下さい。

プロシージャ 11: 4.y へのバージョン 2.x の 2 ASCカード セットのための段階的アップグレード; 3.x から4.y へ

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 2.x への 4.y
- 3.x から4.y へ

1. [現在の ASC構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
2. 各々のプライマリおよびスタンバイ SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
3. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数が変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにこのコマンドを再度発行して下さい。
4. すべてのプライマリおよびスタンバイ SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレード プロセスの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
5. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える `switchcc` コマンドを発行して下さい。TFTP を第 2 ASC に新しいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。 [donotupdatestandby コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を行うために置かれた `<ASC_FW_file> AXIS_ASC_STANDBY.FW` コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。正しいファームウェア修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
6. ブートコードファイルがすべての SM のために書かれているフラッシュ・メモリの開始アドレス および 終了アドレスを設定して下さい。0xbfc00000 でフラッシュ・メモリ ファイル および 0xbfc80000 で端を開始する [FlashStartAddr](#) および [FlashEndAddr](#) コマンドを発行して下さい。

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashStartAddr = 0xbfc00000
```

```
shelf.1.<Slot>.<type>.<a|s>flashEndAddr = 0xbfc80000
```

すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT` を発行して下さい。SM スロットの数によって `slot#` を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。

7. `resetcd <standby_ASC>` コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンバイカードをリ

セットします。

8. スタンバイASC が再度アップした後 `resetcd <active_ASC>` コマンドを発行して下さい。
9. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_0.FW` コマンドを発行して下さい。第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための望ましいファームウェアをダウンロードします。[スロット別ファームウェア](#) ダウンロードのために TFTP を使用して下さい。TFTP を行うために置かれた `<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW` コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば、正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#) を発行して下さい。
10. すべてのスタンドアロン SM のための `resetcd <stand-alone>` コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンドアロン カードをリセットします。
11. すべての冗長性グループに関しては:`resetcd <secondary_SM>` コマンドを発行し、セカンダリがアップグレードされるまで待って下さい。[softswitch コマンド](#) を発行して下さい。[ソフトスイッチ](#) `<primary_SM><secondary_SM>` コマンドを発行して下さい。
12. 接続の数に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#) を発行して下さい。
13. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
14. ASC および SM 設定を必要ならば復元して下さい。

[プロシージャ 12: 4.y へのバージョン 4.x の 2 ASC カード セットのための段階的アップグレード; 4.x への 5.x; 5.x から 5.y へ](#)

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 4.x への 4.y
 - 4.x への 5.x
 - 5.x から 5.y へ
1. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
 2. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをアップグレードする前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
 3. [dspadrxlat コマンド](#) を発行し、接続の数を示す `ConnNumOfValidEntries` パラメータの値に注意して下さい。接続の数に変更されなかったようにするためにプロシージャの終わりにこのコマンドを再度発行して下さい。
 4. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#) を発行して下さい。アップグレード プロセスの間にシエルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
 5. TFTP を行うために置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` コマンドを発行して下さい。このステップは ASC のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#) を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#) を発行して下さい。他の ASC に切り替える `switchcc` コマンドを発行して下さい。TFTP を第 2 ASC のための新しいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた `<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW` を発行して下さい。

フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。 [donotupdatestandby コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を行うために置かれた <ASC_FW_file> AXIS_ASC_STANDBY.FW コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。

6. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた <SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって slot# を取り替えて下さい。このステップは SM のための新しいブートコードをダウンロードします。フラッシュ チェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. すべての SM に関しては、TFTP を行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_0.FW コマンドを発行して下さい。第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための望ましいファームウェアをダウンロードします。 [スロット別ファームウェア](#) ダウンロードのために TFTP を使用して下さい。TFTP を行うために置かれた <SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASCディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイル サイズをチェックすれば。正しいファームウェア 修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
8. `resetcd <standby_ASC>` コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンバイカードをリセットします。
9. スタンバイASC が再度アップした後 `resetcd <active_ASC>` コマンドを発行して下さい。このコマンドはアクティブ カードをリセットし、スタンバイASC は最小サービス効果とアクティブになります。
10. すべてのスタンドアロン SM のための `resetcd <stand-alone>` コマンドを発行して下さい。このコマンドはスタンドアロン カードをリセットします。
11. すべての冗長性グループに関しては:`resetcd <secondary_SM>` コマンドを発行し、セカンダリがアップグレードされるまで待って下さい。 [ソフトスイッチ](#) <primary_SM> コマンドを発行して下さい。 [ソフトスイッチ](#) <secondary_SM> コマンドを発行して下さい。
12. 接続の数に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
14. ASC および SM 設定を必要ならば復元して下さい。

[プロシージャ 13: 4.x にバージョン 4.y の 2 ASCカード セットのためにダウングレード; 5.x への 4.x; 5.y から 5.xへ](#)

このプロシージャはファームウェア バージョンに適用されます:

- 4.y への 4.x
- 5.x への 4.x
- 5.y から 5.xへ

1. [互換性をチェックして下さい](#)。

2. [現在の ASC 構成を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に ASC のためのこのステップを実行して下さい。
3. 各々のプライマリおよびスタンドアロン SM のための[現在の SM 設定を保存して下さい](#)。ファームウェアをダウングレード前に SM のためのこのステップを実行して下さい。
4. [dspadrxlat コマンド](#)を発行し、接続の数を示す *ConnNumOfValidEntries* パラメータの値に注意して下さい。接続の数に変更されなかったようにするためにプロセスの終わりにコマンドを再度発行して下さい。
5. すべてのプライマリおよびスタンドアロン SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。ダウングレードの間にシェルフの設定を変更しないで下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判断するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。
6. TFTP を行うために置かれた [<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW](#) コマンドを発行して下さい。このステップは ASC に望ましいブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。他の ASC に切り替える [switchcc コマンド](#)を発行して下さい。TFTP を第 2 ASC のための望ましいブートコードをダウンロードするために行うように置かれた [<ASC_BT_file> AXIS_ASC_BACKUP.FW](#) コマンドを発行して下さい。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
7. TFTP を行うために置かれた [<ASC_FW_file> AXIS_ASC_ACTIVE.FW](#) コマンドを発行して下さい。このステップはアクティブ ASC のための望ましいファームウェアをダウンロードします。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば、正しいファームウェア修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。TFTP をスタンバイ ASC のための望ましいファームウェアをダウンロードするために行うように置かれた [<ASC_FW_file> AXIS_ASC_STANDBY.FW](#) コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば、正しいファームウェア修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
8. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた [<SM_BT_file> AXIS_SM_1_slot#.BOOT](#) コマンドを発行して下さい。SM スロットの数によって *slot#* を取り替えて下さい。このステップは SM のための望ましいブートコードをダウンロードします。フラッシュチェックサムをファームウェアが正しいことを確認するために計算し、比較する [chkflash コマンド](#)を発行して下さい。フラッシュ・メモリで保存されるブートコードのバージョンを表示する [version コマンド](#)を発行して下さい。
9. すべての SM のための TFTP を行うために置かれた [<SM_FW_file> AXIS_SM_1_0.FW](#) コマンドを発行して下さい。第 0 はすべての関連した SM スロットを表します。このステップは SM のための望ましいファームウェアをダウンロードします。[スロット別ファームウェア](#) ダウンロードのために TFTP を使用して下さい。TFTP を行うために置かれた [<SM_FW_file> AXIS_SM_1_slot#.FW](#) コマンドを発行して下さい。ファームウェアが ASC ディスクに正常にダウンロードされたかどうかダウンロードされたファームウェアのファイルサイズをチェックすれば、正しいファームウェア修正を確認する [dspfwrevs コマンド](#)を発行して下さい。
10. [clralicnf コマンド](#)を発行して下さい。このコマンドはシェルフのすべてのカードをリセットします。
11. ASC および SM 設定を復元して下さい。

12. 接続の数に変更されなかったようにする [dspadrxlat コマンド](#)を発行して下さい。
13. すべての SM のための [dsptotals コマンド](#)を発行して下さい。アップグレードの後で、ポートおよびチャンネル行数を検査して下さい。設定が変わらなかったかどうか判別するためにダウンロードの前にそれらと値を比較して下さい。

[関連情報](#)

- [WAN スイッチング製品のための新しい名前とカラーのガイド](#)
- [ダウンロード : WAN スイッチング ソフトウェア \(登録ユーザ専用 \)](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)